

MT8820C ラジオ コミュニケーション アナライザ用

# MX882005C

PHS測定ソフトウェア

# MX882005C-011

高速化 PHS 測定ソフトウェア





# PHS端末製造/基地局製造の生産ラインの課題を解決

MX882005 C PHS測定ソフトウェアは、日本をはじめアジアを 中心に世界に普及しつつあるPHS規格に準拠したPHS端末の 送受信測定ができます。MX882005C PHS測定ソフトウェア をMT8820C本体にインストールすることで、PHS端末/基地 局の主要送受信特性を1台で評価できます。

先進のDSP技術、並列測定技術により、PHS端末/基地局の製 造・検査時間を大幅に短縮します。また、一括して処理したい 複数の測定項目を自由に選択したり、各測定の繰り返し回数 を個別に設定できます。

PHS測定は、選択した測定項目をワンタッチで一括測定し、送 信周波数、変調精度、送信電力、隣接チャネル漏洩電力、BER など、主要な試験項目の合否判定を簡単、高速に行えます。

GPIB/イーサネットインタフェースを標準装備し、自動化生産ラ インへの組み込みや、保守現場で自動試験システムを構築でき ます。

#### ■ PHS測定項目

送信試験	送信電力
	変調精度
	占有帯域幅
	隣接チャネル漏洩電力
	伝送速度精度
受信試験	ビット誤り率

# MX882005C PHS測定ソフトウェア

### 送信測定

#### 送信電力

PHS端末および基地局の空中線電力、キャリアオフ時漏洩電力 を測定します。測定の繰り返し回数を2回以上に設定すると、 測定結果の最大、平均、最小値が表示され、PHS端末の特性の ばらつき具合を評価できます。この繰り返し測定機能は、ほか の測定にも備わっています。



通常の測定

#### ワイドダイナミックレンジモード

キャリアオフ時漏洩電力は、絶対値とオン/オフ比を測定できます。 また、キャリアオフレベルが小さいときは、ワイドダイナミックレ ンジモードで測定できます。



ワイドダイナミックレンジモード

#### 変調解析

PHS端末および基地局の周波数、周波数誤差 (kHzとppm)、 変調精度、位相誤差、振幅誤差、原点オフセットを同時に測定 できます。また、波形表示機能を備えています。





#### バースト波形表示

バースト波形のグラフ表示ができます。立ち上り/立ち下り部に 加え、スロット全体、フレーム全体の表示もできます。

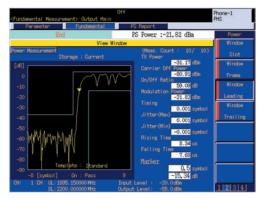
バースト波形がPHS規格のテンプレートに入っているかを一目 で判断できます。



スロット全体



フレーム全体



立ち上り部分



立ち下り部分

### 伝送速度

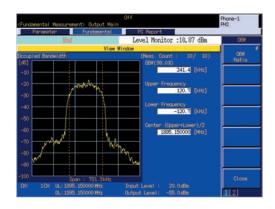
PHS端末および基地局の伝送速度、伝送速度誤差の測定がで きます。



#### 占有周波数带幅

PHS端末および基地局の占有周波数帯幅を測定します。 全電力に対する帯域幅の割合を80.0~99.9%の範囲に変更で きます。高速モードでの測定や波形表示もできます。





#### 隣接チャネル漏洩電力

PHS端末および基地局の隣接チャネル漏洩電力を測定します。 キャリア周波数から-900、-600、+600、+900kHzの計4個の周 波数ポイントにおける電力スペクトラムを測定します。先進の DSP技術に加え、電力スペクトラムをほかの測定と並列に処理 でき、高速な測定ができます。また、波形表示もできます。





### 受信測定

#### ビット誤り率試験

PHSの受信測定では、外部PCなどを使用してPHS端末/基地 局を制御し、PHS端末/基地局から出力される復調データとク ロックを受け、ビット誤り率を測定できます。

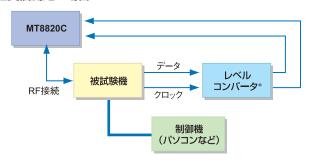
この測定は、送信測定と並列に実行できます。



ビット誤り率

#### 被試験機(移動端末)との接続例

#### 送受信測定の場合

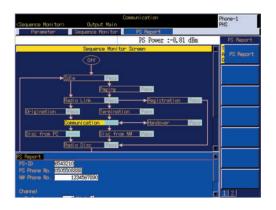


\*: 必要によりユーザ側で準備

### コールプロセッシング機能

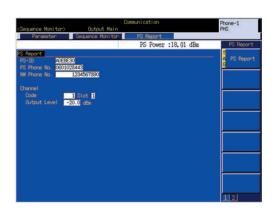
#### 接続試験

コールプロセッシング機能により、位置登録、発呼、着呼、通話、 網側切断、端末側切断などの接続試験ができます。通話状態で は、PHS端末からの音声を下り信号にエコーバックでき、簡単 な音声通話試験が行えます。



#### 移動端末報告モニタ

PHS端末が報告してくる移動端末情報を表示できます。ダイヤ ル網番号とともに、PHS端末の識別コード (PS-ID) や番号も画 面に表示します。



#### シーケンスモニタ

コールプロセッシング機能により、PHS端末の機能動作と検証 を行えます。MT8820Cは、PHS基地局をシミュレーションし、 シーケンス画面を表示します。

位置登録・発呼・着呼・通信・ハンドオーバー(TCH切り換えタ イプ)・端末側切断・網側切断などの接続試験の合否判定が一 目で判断できます。



#### 測定結果判定機能

各測定項目について、正常値の判定上限値、下限値を設定し、 測定結果のPass/Failを表示できます。

保守現場にて、故障箇所を特定するのに役立つ機能です。



#### 通信状態での送信試験

通信状態での送信試験が行えます。実際に基地局と接続した 状態での評価や、キャリアやメーカにより異なる試験用制御の 制約を受けることなく送信測定ができます。生産、保守現場に て威力を発揮します。





# 高度化PHS端末製造/基地局製造を支える 先進の高速法と一括測定

MX882005 C-011 高度化PHS測定ソフトウェア\*は、PHS規格 (ARIB RCR-STD-28 第5.0版) に準拠した高度化PHS端末/ 基地局の送受信測定をサポートします。MX882005 C-011 高度 化PHS測定ソフトウェアをMT8820C本体にインストールし、 π/4DQPSK、8PSK、16QAM変調方式を選択することで、こ れらの変調方式の送受信測定に対応できます。

\*: MT8820C-002、MX882005Cが必要

#### ■ 高度化PHS測定項目

送信試験	送信電力
	変調精度
	占有帯域幅
	隣接チャネル漏洩電力
	伝送速度精度
受信試験	ビット誤り率



変調方式選択画面



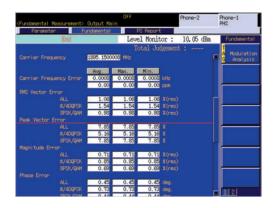
バースト波形表示(スロット全体: 8PSK)

# MX882005C-011 高度化PHS測定ソフトウェア

### 送信測定

#### 変調解析

高度化PHS端末、基地局の周波数、周波数誤差(kHzとppm)、 変調精度、位相誤差、振幅誤差、および原点オフセットを同時 に測定できます。また、波形表示もできます。





\*:送信電力、ワイドダイナミックレンジモード、バースト波形表示、伝送速度、占 有周波数帯幅、隣接チャネル漏洩電力は、MX882005Cと同様の測定ができま

#### 受信測定

#### ビット誤り率試験

高度化PHSの受信測定では、外部PCなどを使用して高度化 PHS端末/基地局を制御し、PHS端末/基地局から出力される 復調データとクロックを受け、ビット誤り率を測定できます。 この測定は、送信測定と並列に実行できます。



ビット誤り率(8PSK)

### コールプロセッシング機能

#### 接続試験

コールプロセッシング機能により、位置登録、発呼、着呼、通話、 網側切断、端末側切断などの接続試験ができます。既存のPHS 規格 (ARIB RCR-STD-28、変調方式π/4DQPSK) に基づいた 呼接続にπ/2DBPSKでの音声接続を追加しており、通話状態 では、高速化PHS端末からの音声を下り信号にエコーバックで き、簡単な音声通話試験が行えます。

\*:移動端末報告モニタ、シーケンスモニタ、通信状態での送信試験、測定判定結 果機能は、MX882005Cと同様の測定ができます。

# 規格

## ● MT8820 C-002 TDMA測定ハードウェア、MX882005 C PHS測定ソフトウェア

	First, 000MU- 0.70U-
	周波数: 300MHz~2.7GHz
	入力レベル (バースト内平均電力、Main):
	-30~+40dBm(測定対象: PS-TCH、PS-SYNC、CS-TCH、CS-SYNCの場合)
周波数/変調測定	-30~+35dBm(測定対象: 連続波の場合)
10///文从/ 交前/对之	キャリア周波数確度: ±(基準発振器確度 + 10 Hz)
	変調精度: ±(指示値の2% + 0.7%)
	原点オフセット: ±0.5dB(-30dBcの信号に対して)
	伝送速度: ±1ppm (測定範囲 384 kbps ±100 ppm)
	周波数: 300 MHz~2.7GHz
	入力レベル(バースト内平均電力、Main):
	-30~+40dBm(測定対象: PS-TCH、PS-SYNC、CS-TCH、CS-SYNCの場合)
	-30~+35dBm(測定対象: 連続波の場合)
振幅測定	測定確度(CAL実行後): ±0.5dB(-20~+40dBm)、±0.7dB(-30~-20dBm) *校正後、10~40℃時
	直線性: ±0.2dB(-40~0dB、≥-30dBm)
	キャリアオフ時電力測定範囲:
	≥55dB
	≧ (振幅測定値[dBm] + 70) dB、(Wide Dynamic Range Power測定)
	周波数: 300 MHz~2.7 GHz
L	入カレベル(バースト内平均電力、Main):
占有周波数帯幅	-10~+40dBm(測定対象: PS-TCH、PS-SYNC、CS-TCH、CS-SYNCの場合)
	-10~+35dBm(測定対象: 連続波の場合)
	周波数: 300 MHz~2.7 GHz
	- 入力レベル (バースト内平均電力、Main):
隣接チャネル漏洩電力	-10~+40dBm(測定対象: PS-TCH、PS-SYNC、CS-TCH、CS-SYNCの場合)
	-10~+35dBm (測定対象: 連続波の場合)
	测定範囲: ≤ −60 dB (600 kHz離調)、≤ −65 dB (900 kHz離調)
RF信号発生器	出力周波数:300 MHz~2.7 GHz、1 Hz ステップ
	至調精度:≦3%rms
	文明
誤り率測定	機能・ビット誤り率を測定する
	調定対象: 背面パネルのCall Proc. I/O端子から入力したシリアルデータ
 コールプロセッシング	呼接続: 位置登録、発呼、着呼、通話、網側切断、端末側切断、ハンドオーバ
	- NINWA: 中屋 TAN/ No.1/ '' (当.1) Yerlif (Mind Arbit Nin

## ● MT8820 C-002 TDMA測定ハードウェア、MX882005 C-011 高度化PHS測定ソフトウェア

測定対象	MX882005 C PHS測定ソフトウェアと同一規格。測定対象は下記のとおり 測定対象: PS-TCH (π/4DQPSK、π/2DBPSK、8PSK、16QAM) PS-SYNC (π/4DQPSK、π/2DBPSK) PS-SCCH (π/2DBPSK) CS-TCH (π/4DQPSK、π/2DBPSK、8PSK、16QAM) CS-SYNC (π/4DQPSK、π/2DBPSK)
	(変調測定に関して: 測定対象の変調方式が16QAMの場合は、シンボル点に偏りがないこと)
コールプロセッシング	π/4DQPSK、π/2DBPSKによる呼制御:位置登録、発呼、着呼、通話、網側切断、端末側切断、ハンドオーバ

# オーダリング・インフォメーション

ご契約にあたっては、形名・記号、品名、数量をご指定ください。 品名は、現品の表記と異なる場合がありますので、ご了承ください。

形名・記号	品 名
	一本 体一
MT8820C	ラジオ コミュニケーション アナライザ
	-標準付属品-
J1211	電源コード、3m: 1本
	CFカード: 1個
	PC カードアダプタ (CF カード用): 1個
W3320AW	MT8820C 取扱説明書 (CD-ROM): 1枚
	ーオプションー
MT8820C-017	RF拡張ハードウェア <sup>*1</sup>
MT8820C-001	W-CDMA測定ハードウェア
MT8820 C-002	TDMA測定ハードウェア
MT8820 C-007	TD-SCDMA測定ハードウェア
MT8820 C-008	LTE測定ハードウェア
MT8820C-011	オーディオボード
MT8820C-012	- ^ - ^ - · · · · · · · · · · · · · · ·
MT8820C-018	RF拡張 3.4GHz~3.8GHz (MT8820C-017、
	MT8820C-119、MT8820C-120のいずれか1つが必要)
MT8820C-101	W-CDMA測定ハードウェア後付
MT8820 C-102	TDMA測定ハードウェア後付
MT8820 C-107	TD-SCDMA測定ハードウェア後付
MT8820 C-108	LTE測定ハードウェア後付
MT8820 C-111	オーディオボード後付
MT8820C-112	パラレルフォン測定ハードウェア後付
MT8820C-119	RF拡張ハードウェア for SPM後付
MT8820C-120	RF拡張ハードウェア for PPM後付
MT8820C-177	TD-SCDMA測定後付 (MT 8820 C-001 が必要)
	ーソフトウェア オプションー
MX882000C	W-CDMA測定ソフトウェア
111710020000	(MT8820C-001、MX882050Cが必要)
MX882000 C-001	W-CDMAボイスコーデック
1117,002,000 0 001	(MT8820C-011、MX882000Cが必要)
MX882000 C-011	HSDPA測定ソフトウェア
	(MT8820C-001、MX882000C、MX882050Cが必要)
MX882000 C-013	HSDPA高速データレート (MT8820 C-001、
	MX882000 C、MX882000 C-011、MX882050 Cが必要)
MX882000 C-021	HSUPA測定ソフトウェア (MT8820 C-001、
	MX882000 C、MX882000 C-011、MX882050 Cが必要)
MX882000 C-031	HSPA Evolution測定ソフトウェア*2
	(MT8820C-001、MX882000C、MX882000C-011、
	MX882000 C-021、MX882050 C が必要)
MX882000 C-032	DC-HSDPA測定ソフトウェア* <sup>2、*3</sup>
	(MT8820C-001 2式、MT8820C-012、MX882000C、
	MX882000 C-011、MX882000 C-021、MX882000 C-031、
	MX882010C、MX882050Cが必要)
MX882000 C-033	DC-HSUPA測定ソフトウェア <sup>*2、*4</sup>
	(MT8820C-001 2式、MT8820C-012、MX882000C、
	MX882000 C-011、MX882000 C-021、MX882000 C-031、
	MX882000 C-032、MX882010 C、MX882050 Cが必要)
MX882000 C-034	4C-HSDPA測定ソフトウェア <sup>*2、*4</sup>
	(MT8820C-001 2式、MT8820C-012、MX882000C、
	MX882000 C-011、MX882000 C-021、MX882000 C-031、
	MX882000 C-032、MX882010 C、MX882050 Cが必要)
MX882001C	GSM測定ソフトウェア (MT8820 C-002が必要)
MX882001 C-001	GSMボイスコーデック (MT8820 C-011、MX882001 Cが必要)
MX882001 C-002	GSM外部パケットデータ (MX882001Cが必要)
MX882001 C-011	EGPRS測定ソフトウェア (MX 882001 C が必要)
MX882001 C-041	GSM高速調整 (MX 882001 C が必要)
MX882005C	PHS測定ソフトウェア (MT8820C-002が必要)
MX882005 C-011	高度化PHS測定ソフトウェア (MX882005 C が必要)

形名・記号	品名
MX882007C	ローローローローローローローローローローローローローローローローローローロー
WIX 662007 C	(MT8820C-001とMT8820C-007が必要)
MX882007C-001	(MT 6620 C-00 T 2 MT 6620 C-00 T か 多安) TD-SCDMA ボイスコーデック
WIX 002007 G-001	(MT8820C-011、MX882007Cが必要)
MX882007 C-003	(MT 8820C-011、MX 882007 C が必要) TD-SCDMAテレビ電話試験 (MX 882007 C が必要)
MX882007 C-003	TD-SCDMA / DC電話試験 (MX662007 Cが必要) TD-SCDMA HSDPA測定ソフトウェア*2
WIX002007 G-011	(MT8820C-001、MT8820C-007、MX882007Cが必要)
MX882007C-012	TD-SCDMA HSDPA Evolution測定ソフトウェア*2
WIX002007 G-012	(MT8820C-001、MT8820C-007、MX882007C、
	(MY 882007 C-011 が必要)
MX882007C-021	TD-SCDMA HSUPA測定ソフトウェア*2
1117.002001 0 021	(MT8820C-001, MT8820C-007, MX882007C)
	MX882007C-011が必要)
MX882010C	パラレルフォン測定ソフトウェア
	(MT8820C-012、各測定ソフトウェア1式および各測定
	ハードウェアが同一セット (2枚1組) で必要) *5
MX882012C	LTE FDD測定ソフトウェア*2 (MT8820 C-008が必要)
MX882012C-006	LTE FDD IPデータ転送*2 (MX882012 Cが必要)
MX882012C-011	LTE FDD 2×2 MIMO DL*2, *6
	(MT8820C-012、MX882012Cが必要)
MX882012C-016	LTE FDD CS Fallback to W-CDMA/GSM*7
	(MX882012Cが必要)
MX882012C-021	LTE-Advanced FDD DL CA 測定ソフトウェア*2、*8
	(MT8820C-008 2式、MT8820C-012、MX882010C、
	MX882012Cが必要)
MX882012C-026	LTE-Advanced FDD DL CA IP データ転送* <sup>9</sup>
	(MT8820C-008 2式、MT8820C-012、MX882010C、
	MX882012C、MX882012C-006、MX882012C-021が必要)
MX882012C-031	LTE-Advanced FDD DL CA 3 CCs 測定ソフトウェア*2、*10
	(MT8820 C 2台が必要
	1台は、MT8820C-008 2式、MT8820C-012、
	MX882010C、MX882012Cが必要
	もう1台は、MT8820C-008、MX882012Cが必要)
MX882013C	LTE TDD測定ソフトウェア*2(MT8820C-008が必要)
MX882013C-006	LTE TDD IPデータ転送*2 (MX882013 Cが必要)
MX882013C-011	LTE TDD 2×2 MIMO DL*2、*6
MV000012C 016	(MT 8820 C-012、MX 882013 C が必要) LTE TDD CS Fallback to W-CDMA/GSM * <sup>11</sup>
MX882013C-016	(MX882013Cが必要)
MX882013C-018	LTE TDD CS Fallback to TD-SCDMA/GSM*11
WIX 0020 13 C-0 10	(MX882013Cが必要)
MX882013C-021	LTE-Advanced TDD DL CA測定ソフトウェア*2、*8
WIX 0020 10 0 02 1	(MT8820C-008 2式、MT8820C-012、MX882010C、
	MX882013Cが必要)
MX882013C-026	LTE-Advanced TDD DL CA IP データ転送*9
	(MT8820C-008 2式、MT8820C-012、MX882010C、
	MX882013C、MX882013C-006、MX882013C-021が必要)
MX882013C-031	LTE-Advanced TDD DL CA 3CCs測定ソフトウェア*2、*10
	(MT8820 C 2台が必要
	1台は、MT8820C-008 2式、MT8820C-012、
	MX882010C、MX882012Cが必要
	もう1台は、MT8820C-008、MX882012Cが必要)
MX882032C	CDMA2000測定ソフトウェアLite *2
MX882036C	1xEV-DO測定ソフトウェアLite*2
MX882036C-011	1xEV-DO Rev. A測定ソフトウェア*2
MX882042C	LTE FDD測定ソフトウェア Lite *2
MX882043C	LTE TDD測定ソフトウェア Lite*2
MX882050C	W-CDMA呼接続ソフトウェア*2、*12 (MX882000 Cが必要)
MX882050C-002	W-CDMA外部パケットデータ*2(MX882050Cが必要)
MX882050C-003	W-CDMAテレビ電話試験*2(MX882050Cが必要)
MX882050C-007	W-CDMA Band XII、XIII、XIV、XIX、XX、XXI*2、*13
140/0000700	(MX882050Cが必要)
MX882050C-008	W-CDMA Band XI*2 (MX 882050 C が必要)
MX882050C-009	W-CDMA Band IX*2 (MX 882050 C が必要)
MX882050C-011	HSDPA外部パケットデータ*2(MX882000 C-011が必要)
MX882051C	W-CDMA呼接続ソフトウェア*2(MX882000 C が必要)
MX882051C-002	W-CDMA外部パケットデータ*2(MX882051Cが必要)
MX882051C-003	W-CDMAテレビ電話試験*2(MX882051Cが必要) W-CDMAサイファーリングソフトウェア*2(MX882050Cが必要)
MX882070C	、vv-c.nvia サイフアーリンクソフトリエア ~(MX882U5UCが必要)
MX882071C	W-CDMAサイファーリングソフトウェア*2 (MX882051Cが必要)

形名・記号	品名
7,5 [	- 保証サービス-
MT8820C-ES210	2年保証延長サービス
MT8820C-ES310	3年保証延長サービス
MT8820C-ES510	5年保証延長サービス
	一応用部品一
P0035B	W-CDMA/GSM テストUSIM (標準UICCサイズ)
P0035B7	W-CDMA/GSM テストUSIM (Micro UICCサイズ) *14
P0135A6	Anritsu Test UICC GA (Nano UICC サイズ) * 15
P0135A7	Anritsu Test UICC GA (Micro UICCサイズ) *15
P0250A6	Anritsu Test UICC GT (Nano UICCサイズ) *15
P0250A7	Anritsu Test UICC GT (Micro UICCサイズ) *15
P0260A6	Anritsu Test UICC GM (Nano UICCサイズ) *15
P0260A7	Anritsu Test UICC GM (Micro UICCサイズ) *15
P0135B6	Anritsu Test UICC GA (Nano UICCサイズ) * 15
P0135B7	Anritsu Test UICC GA (Micro UICCサイズ) *15
P0250B6	Anritsu Test UICC GT (Nano UICCサイズ) *15
P0250B7	Anritsu Test UICC GT (Micro UICCサイズ) *15
P0260B6	Anritsu Test UICC GM (Nano UICCサイズ) *15
P0260B7	Anritsu Test UICC GM (Micro UICCサイズ) *15
A0058A	ハンドセット
J1195A	PP2S出力ケーブル
J1249	CDMA2000同期用ケーブル [D-Sub (15極、P)・D-Sub
	(15極、P)、J1267 (別売) とペアで使用] * <sup>16</sup>
J1267	CDMA2000同期用クロスケーブル[D-Sub(9極、P)・D-Sub
	(9極、P)、クロスケーブル、J1249 (別売) とペアで使用]
J1606A	同期ケーブル* <sup>16</sup>
J0576B	同軸コード、1m(N-P・5D-2W・N-P)
J0576D	同軸コード、2m (N-P・5D-2W・N-P)
J0127A	同軸コード、1m(BNC-P・RG58A/U・BNC-P)
J0127C	同軸コード、0.5m(BNC-P・RG58A/U・BNC-P)
J0007	GPIBケーブル、1m
J0008	GPIBケーブル、2m
MN8110B	I/Oアダプタ (コールプロセッシングI/O用)
B0332	連結板(4枚/組)
B0643A	ラックマウントキット (MT8820C)
B0499	キャリングケース(ハードタイプ)(保護カバー付き、キャスタ付き)
B0499B	キャリングケース(ハードタイプ)(保護カバー付き、キャスタなし)

- \*1: 2012年7月以降出荷のMT8820C本体に標準実装 (MT8820C-017は、 MT8820Cと同時に注文が必要です)。
- \*2: 端末との接続可否などは、営業担当にお問い合わせください。
- \*3: MX882000 C-032は、W-CDMA HSPA Evolutionのパラレルフォン測定 オプション構成が必要です。
- MT8820Cを2台で使用する場合は、営業担当にお問い合わせください。 \*4: MX 882000 C-033 (034) は、W-CDMA DC-HSDPA測定オプション構成 が必要です。詳細は、営業担当までお問い合わせください。
- \*5: パラレルフォン測定オプションに対応する測定ハードウェアは  $MT\,8820\,C\text{-}001, MT\,8820\,C\text{-}002, MT\,8820\,C\text{-}007, \,\sharp\, \text{$t$ct}\,MT\,8820\,C\text{-}008$ であり、すべての測定ハードウェアを同時に実装できます。
- \*6: MX882012 C-011は、MT8820 C-012が必要です
- \*7: MX882012C-016 LTE FDD CS Fallback to W-CDMA/GSM機能試 験には、別途MT8820CのW-CDMA/GSM構成が必要です CS Fallback機能試験の構成については、営業担当までお問い合わせく ださい。
- \*8: MX882012C(13C)-021は、LTE FDD(TDD)のパラレルフォン測定オプショ ン構成が必要です。
  - MT8820Cを2台で使用する場合は、営業担当にお問い合わせください。
- \*9: MX882012C(13C)-026の機能試験には、外部サーバーPCが2台必要です。 LTE-Advanced FDD (TDD) DL CA IP データ転送 (2CCs、2Layer) での機能試験には、LTE 2×2 MIMO DL構成のMT8820C 2台と外部 サーバーPCが2台必要です。詳細は、営業担当までお問い合わせください。
- \*10:1台は、LTE FDD(TDD)のパラレルフォン測定オプション構成が必要です。 もう1台は、シングルフォン測定オプション構成が必要です MT8820Cを3台使用する場合は、営業担当までお問い合わせください。 同期ケーブルも必要です。
- \*11: MX 882013 C-016 (018) LTE TDD CS Fallback to W-CDMA/GSM (TD-SCDMA/GSM)機能試験には、別途MT8820CのW-CDMA/ GSM (TD-SCDMA/GSM)構成が必要です。 CS Fallback機能試験の構成については、営業担当までお問い合わせく ださい。
- \*12:メッセージ認証機能を標準搭載しています。
- \*13: MX 882050 C-007は、W-CDMA Band 12、13、14、19、20、21に対応しています。
- \*14: P0035B7は、P0035B W-CDMA/GSM Test USIMをカットした MicroSIM対応のTest USIMです。P0035B7は、MicroSIM通常サイズ のUSIMカードスロットに挿入することはできません。また、P0035B7に SIMアダプタを使用することはできません。使用した場合、端末から取 り出せなくなる場合があります。
- \*15: 詳細は、P0135 Ax/P0250 Ax/P0260 Axの個別リーフレットを参照して ください。
- \*16: LTE-Advanced DLCA同期用ケーブルとして使用できます。 詳細は、営業担当までお問い合わせください。
- ・パラレルフォン™は、アンリツ株式会社の登録商標です。
- ・CF®カードは、SanDisk社の登録商標であり、CFA (Compact Flash Association) にライセンスされています。



お見積り、ご注文、修理などは、下記までお問い合わせください。 記載事項は、おことわりなしに変更することがあります。

#### アンリツ株式会社

https://www.anritsu.com

本社 〒243-8555 神奈川県厚木市恩名5-1-1 TEL 046-223-1111

厚木 〒243-0016 神奈川県厚木市田村町8-5 诵信計測堂業太部 TEL 046-296-1202 FAX 046-296-1239 通信計測営業本部 営業推進部 TEL 046-296-1208 FAX 046-296-1248

仙台 〒980-6015 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1 SS30

通信計測営業本部 TEL 022-266-6134 FAX 022-266-1529 名古屋〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル

通信計測営業本部 TEL 052-582-7283 FAX 052-569-1485 大阪 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-101 大同生命江坂ビル

通信計測営業本部 TEL 06-6338-2800 FAX 06-6338-8118

福岡 〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田1-8-28 ツインスクェア

通信計測営業本部 TEL 092-471-7656 FAX 092-471-7699

■カタログのご請求、価格・納期のお問い合わせは、下記または営業担当までお問い合わせください。 通信計測営業本部 営業推進部

TEL: 0120-133-099 (046-296-1208) FAX: 046-296-1248 受付時間/9:00~12:00、13:00~17:00、月~金曜日(当社休業日を除く) E-mail: SJPost@zy.anritsu.co.jp

■計測器の使用方法、その他については、下記までお問い合わせください。 計測サポートセンター

TEL: 0120-827-221 (046-296-6640)

受付時間/9:00~12:00、13:00~17:00、月~金曜日(当社休業日を除く) E-mail: MDVPOST@anritsu.com

■ 本製品を国外に持ち出すときは、外国為替および外国貿易法の規定により、日本国政府の輸出許可または役務取引許可が必要となる場合があります。 また、米国の輸出管理規則により、日本からの再輸出には米国商務省の許可が必要となる場合がありますので、必ず弊社の営業担当までご連絡ください。

ご使用の前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。	2006